

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箱根仙石原HOTELPROJECT	階数	地上4F
建設地	足柄下郡箱根町仙石原字元湯場932番1, 932番6, 932番7	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	221人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年6月 予定	評価の実施日	2025年8月13日
敷地面積	4,855 m ²	作成者	(株)アルファワークス
建築面積	1,405 m ²	確認日	2025年8月20日
延床面積	4,537 m ²	確認者	(株)アルファワークス



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.0

Q2 サービス性能: 2.9

Q3 室外環境(敷地内): 3.0

LR1 エネルギー: 3.3

LR2 資源・材料: 2.9

LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

項目	スコア
音環境	3.1
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

項目	スコア
機能性	3.0
耐用性・信頼性	3.0
対応性・更新性	2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

項目	スコア
生物環境	3.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.8
効率的運用	3.0

LR2 資源・材料

LR2のスコア = 2.9

項目	スコア
水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.9
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.9
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 地域性を配慮し、極力既存樹木を残し、省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化防止およびヒートアイランド現象の緩和に努めている	その他 既存敷地レベルを維持し、建物をレベルに合わせて配置し、周囲の既存石垣を残すことで排出土量を減らすとともに、建設廃棄材の削減に努めています。	
Q1 室内環境 開口部遮音性能は、T-2以上。 スラブ厚t200、スラブ面積31.39㎡未満でLr-55相当である。	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー BPI _m =0.80	LR2 資源・材料	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=77%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される